

信州大学医学部附属病院 呼吸器外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025 年 2 月 26 日

「ロボット支援下肺区域切除術における術中損傷の検討(後向き試験)」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6436
研究課題名	ロボット支援下肺区域切除術における術中損傷の検討(後向き試験)
所属(診療科等)	呼吸器外科
研究責任者(職名)	中村 大輔(医員)
研究実施期間	医学部長による許可日～2029 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	肺癌に対する手術は、これまで肺葉という片方の肺の 20～50%を占めるひとつのブロックを切除する術式(肺葉切除)が標準術式でありましたが、近年の大規模比較試験などから、さらに切除する容量を少なくした肺区域切除術が標準術式のひとつとなっております。また、体への負担の少ない胸腔鏡下手術が普及しておりますが、さらに高精度な手術を可能とするロボット支援下の肺区域切除も 2022 年 4 月から保険適応となりました。以上のことから今後、ロボット支援下の肺区域切除症例の増加が予測されます。今回の研究では、これまで当院でロボット支援下の肺区域切除術を行った症例の手術動画を分析し、術中に起こった臓器損傷症例を解析することで、今後のロボット支援下肺区域切除術への安全対策を強化することを目的としています。 また、この研究結果を学会や論文などで発表することで、ロボット支援下肺区域切除術を行う医師への周知として貢献できると考えられます。
対象となる方	2020 年 7 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の期間に当院でロボット支援下肺区域切除術を受けられた方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、手術内容など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、手術記録・内容と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。

問い合わせ先	氏名(所属・職名): 中村 大輔 (呼吸器外科 医員) 電話:0263-37-2657
--------	--

【既存の診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。